

型式記号

ATS-306 1-M
 356 2
 406 2
 1

※1 ※2 ※3 ※4
 3

型式記号一覧表			
※1	※2	※3	※4
H	R	G	2
V	N	N	200V級
N			

1 型番

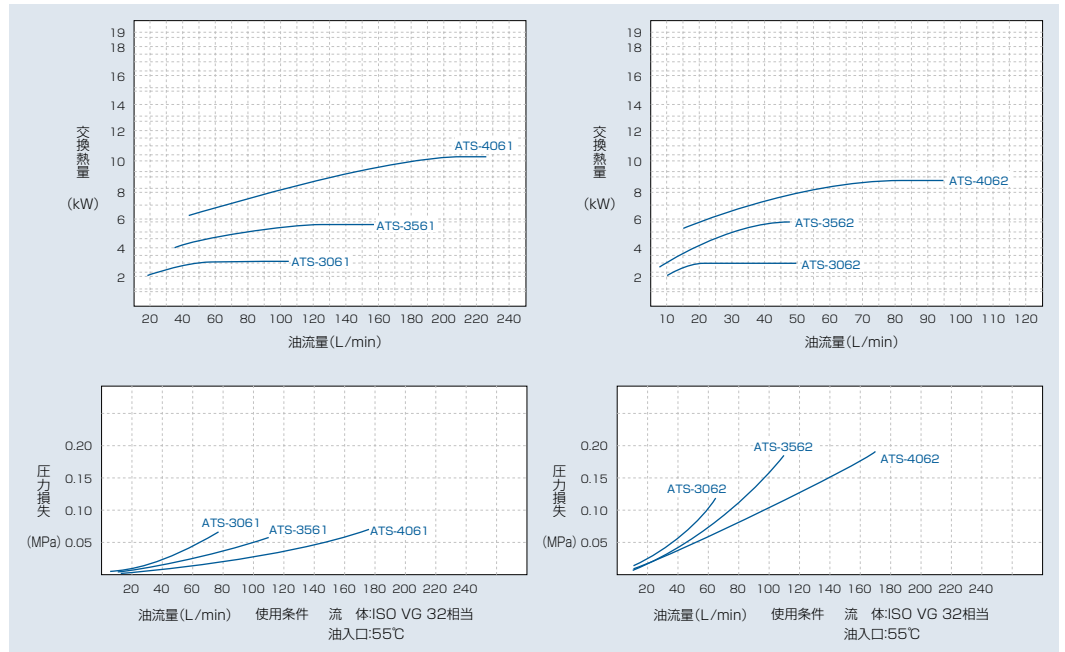
2 オイル側の回路数
※306のみS

3 装備品

選定グラフ I

条件

流体:ISO-VG32相当
 油入口温度:65℃
 空気入口温度:35℃
 モータ周波数:50Hz



ATS型の外形寸法については大生工業(株)熱交換器総合カタログを参照、もしくはお問い合わせください。
 当カタログに掲載されている製品の他にも、標準品、特殊品がありますのでお問い合わせください。

空冷式オイルクーラー使用に際して

製品を安全にご使用頂くために、警告並びに注意事項をご確認の上で採用くださいますようお願い申し上げます。
 また、使用になる前には必ず取扱説明書を熟読し、安全に注意してご使用頂きますようお願い致します。
 本内容に沿わずにご使用になった場合は、ご使用期間にかかわらず保証対象外とさせていただきますのでご了解ください。

1 据付

据付けは、しっかりした架台に取り付け、点検・清掃・補修等を行えるスペースを設けてください。特に空気の吸引、吐出側に障害物があると風量減少による性能低下の原因になりますのでご注意ください。

2 運転

運転はファンの回転状態(方向・振動・風の吹抜け)の良好であることを確認してからオイルを徐々に送入するようにしてください。ファンの回転が逆の場合は、吸込みとなり性能低下となりますので、速やかに電源を切り結線を換えてください。

3 保守・点検

清掃及び点検は6ヶ月に1回程度行ってください。特に外気温度の上昇する夏期前に清掃を行うことをおすすめ致します。又清掃を行う場合は必ず運転を休止し、ファンの回転及びライン圧のない事を確認してください。

4 清掃方法

1) ラジエータ外部の洗浄

中性洗剤を溶かした温水溶液に浸漬し、ゆすぎ洗いをし、さらに圧縮空気を吹き付けてください。(洗浄が残らないよう注意してください)。

2) ラジエータ内部の洗浄

洗油で循環させ、再度清浄な洗油で循環させてください。油側は比較的汚れが少ないため、年1回程度の清掃をおすすめ致します。

3) ラジエータフィン修理

フィンがたおれてしまうと風量低下となりますので、修正してください。